

協議会名称： 美浜町小水力発電推進協議会

事業概要	
1 事業の目的と概要	<ul style="list-style-type: none">美浜町における水資源を生かした小水力発電等の事業化に向けた調査研究を行うとともに、地域の観光地や地域社会の持続可能な発展に寄与することを目的に、住民と行政が連携して候補地の詳細なポテンシャル評価を進める。見込まれる電力量や採算性、水利権、事業主体等の課題等を検討し、事業化の可否を判断した上で、計画立案に着手したい。
2 協議会の構成	<ul style="list-style-type: none">協議会は小水力発電の普及に賛同する住民、利害関係者、地元地区代表者及び町の環境担当課で構成され、それぞれが地元住民の理解・協力や地域の活性化対策、施設へのエネルギー活用、再生可能エネルギーの普及推進、利害関係の調整等の役割を担う。

事業計画	
1 再エネ事業の概要	<ul style="list-style-type: none">売電価格から採算性がある発電可能量が十分に見込める場合は、発電事業主体の収入の中から資金を捻出し、その資金を地域活性化の原資として活用する。もしくは、地域の施設等において自給可能な自然エネルギーとして位置付け、美浜町における水資源を生かした小水力発電として、地域の観光地や住民の日常生活に活かし、地域おこしに繋げる。
2 事業の進め方・方針	<ul style="list-style-type: none">美浜町新庄 栗柄谷川を中心に、町内4箇所の候補地で流量や落差から発電可能量を想定し、売電価格から採算性がある事業費限度額を仮算出したが、採算性がとれない可能性が高く現時点では事業の実施を民間企業や地域に薦めることができない。現状では、見込まれる電力量や採算性、水利権等の課題等を検討し、事業化の可否を判断するためのデータ等判断材料がまだ不足していることから、今年度は、現地調査による流量データの取得と整理、発電方式や費用対効果の検討を進める。

今年度の取組み	
1 今年度の目標	<ul style="list-style-type: none">小水力発電事業化の可否の判断事業化すると判断された場合の事業化基本計画の作成に着手
2 課題と解決への取組み	<ul style="list-style-type: none">経済性<ul style="list-style-type: none">売電収入や電気料金削減費用で維持管理経費をまかなう前提で、経済性の良い地点から開発を検討する。環境PR、教育目的だけでは行き詰まる。ポテンシャルの低いケースで無理な発電は行う必要はない。法的規制、権利関係、利害関係のクリア、調整等<ul style="list-style-type: none">現状を整理し、手続き等の容易な地点から開発を検討する。支援制度、補助金制度の活用<ul style="list-style-type: none">他市町の事例も参考に情報収集を進める。関係各所、地域住民との合意形成